

世は アンチエイジングの時代。年齢や経験の積み重ねで磨きあげた“成熟からなる美しさ”で輝く女性たちをご紹介します。

THE BEST OF ME

～最高の今を写真で記録する～

She's Story 今回のテーマは『スプリングロマンス』。ワムは私のライフワークです。



今月の「大人記念美」にご登場頂いたのは、宮崎在住の川島 真奈美さん。この春、55歳を迎える記念にと挑まれた今回の撮影。清楚な白いワンピースに、スイートピーの花束を抱えた姿がとてもエレガントです。

「年齢を重ねたことで、柔らかく、優しくなった自分を表現したいと思ったことから、春という季節、花びらのように柔らかく、ゆげで、春風のように透け感のあるもの…とイメージしていたら、この服を思い出しました。14～5年前、パーティーで1度着ただけで、ずっとクローゼットに眠っていたもの。長い間、出番がなかったけど、今回、目の見る事ができて良かったです」

手に持つのは服のイメージに合うもの、しかも縦長のラインが欲しい…ということで、茎の長いスイートピーを探し求められたのだそう。その具体的なイメージ作りに感心しました。

真奈美さんとエステワムとの出会いは、約25年前。アトピー跡が気になっていて、相談に訪れたのがきっかけ。

「学生時代はずっとテニス漬けでしたので、いつも真っ黒に日焼けしていました。就職しても屋外が多い仕事（交通遵守員）だったので、真っ黒。ケアなどしたことがなく、結婚して、2人の子育てに夢中で、気がついたら、肌が大変なことになっていました」

ご主人とは職場結婚。結婚後はご主人の希望もあり専業主婦に。専業主婦として10年過ごす間、やり取りを工夫し、31歳で自ら設計してマイホームを建設。その10年後に、新しくオープンするホテルに入る婚礼美容室のマネージャーにと声がかかって再就職。

「ちょうど子育ても落ち着いた頃だったので、家事をちゃんとやることを条件に、主人から許可をもらいました。人と話すことは基本的に好きですし、以前の仕事は笑ってはいけない仕事（警察官）だっただけに、今度は笑顔でできる仕事、しかも慶びのお手伝いというところに強く惹かれました」

お客様相手の仕事になったことで、美容に興味を持ち、お肌にも気をつけるようになった真奈美さんがエステワムに通う目的は「維持のため」と明確な理由から。

「人生のハレの日を迎える幸せな方々とお話をするのだから、疲れた様子が出ないように心がけています。また老若同じ制服を着るので、体のラインも維持しなければ…。でも、仕事も忙しく、時間もないので、ホームケア商品は全て揃えていて、毎日のホームケアを欠かしません。サロンには月に一度「ワムDAY」と名付けて何っています。その日は髪から全部、全身トータルでやってもらうんです。全身チェックしてもらおう」

ワム歴25年ともなると、その辺のスタッフより商品知識があり、メニューもお詳しい。「今のお気に入り」は「美チャージ」。良かれというものは必ず全部試します。今では宮崎店の新人研修担当のようなもの。私をクリアしたらどんなお客様にも対応できるから（笑）。そんなこんなで、「エステワム」＝「ホストワム」と冗談で呼んでいるほどワムにぞっこんです（笑）

国体の強化選手だったほどの腕前のテニスも、下のお子さんが幼稚園に入園したのを機に再開し、それからずっと週1～2回のペースで続けていらっしやるそう。

「もう日焼けはしたくないので、インドアで、しかも、今の目的は汗を掻くためなので、真夏でもサウナスーツを着てやっています。スポーツというよりアトックス目的（笑）」

まるでテニスのラリーのように、言葉がボンボンと返ってくる。内面も外見も2人のお孫さんがいらっしやるとは信じられないような若々しさ。

「私がワムに通う理由は、降下（老化）の速度を出来るだけ緩めて、願わくば、現状を維持したいから。そのために真面目に努めます。月に1回のチェックに向けて、自宅で微調整もするし、その日クリアしたら、また次の月までの調整が始まる。何事も一定期間続けないと結果は出ませんから、ワムさんのお付き合いは私のライフワークです」

現状維持に努めていれば、「あの頃に戻りたい」と思うことも無い…若さの秘訣、そしてアンチエイジングの基本を教えられた気がしました。

(colette編集部)



今月のanne
anne by colette

anne(アンヌ)はcoletteの
お姉さんの存在です

川島 真奈美 さん(54歳)

Manami Kawashima
婚礼美容室マネージャー

Hair&Make担当
AgeeWAM 鹿児島店